

テラマイシン, オーレオマイシン, 及びクロロマイセチンによる トラコーマ集団治療の成績

金沢大学医学部眼科学教室(主任 倉知教授)

専攻生 八 田 吉 勝

Yoshikatu Hatta

専攻生 村 上 恵 風

Keifu Murakami

(昭和26年10月26日受附)

トラコーマに対する, オーレオマイシン, 及びテラマイシンの治療効果については, 最近数多くの報告があり, 極めて有効なことが認められ, 外來患者治療に, あるいは集団治療に大いに利用されている. しかしクロロマイセチンは効果がないといわれ, それによる治療報告も極めて少い.

私達は, 金沢市民病院主催の下に, 昭和25年10月10日「眼の愛護デー」を期して, 金沢市金石町において, 10日間無料診療を行い, 同時に上記三薬品の治療効果を比較したのでその結果を

記録に残しておきたいと思う.

受診患者数は全部で234人(男77人, 女157人)で, この中にトラコーマを有する患者は, 男25人, 女82人, 計107人であり, この者を治療の対象とした. 実験方法は, トラコーマ患者全員に症状の如何を問わず, 0.5%の軟膏を1日1回点眼を行い, 同種の0.25%水溶液を自宅点眼剤として投与し, 1日5~6回点眼させた. 経過は10日間しか観察しなかつたのであるが, それでも仲々患者が揃わず, ために経過を連続追及し得たもののみを表にした.

第1表 テラマイシン使用例

氏名病名	年性	開始時 所見						治療日数	終了時 所見						備考			
		眼脂感	充物血濁	濾胞	乳肥厚	癬痕	パンヌス		眼脂感	充物血濁	濾胞	乳肥厚	癬痕	パンヌス				
金○よ○	63	♀	++	+	+++	+	+	-	10	+	-	+	++	++	+	++	-	
鍋○外○子	37	♀	++	+	++				+	10	-		++			-	+	
鍛○栄○	8	♀	+	+	++				10	-	-	-					++	
板○和○	27	♀	+	+	+				+	10	-	+	+			-	+	
番○孫○郎	65	♂	++				+		+	10	-			+		+	±	
田○とよ○	43	♀	++				+		+	10	-			+		-	+	
池○君○	32	♀	-		+				10	-		+				-		
池○マサ○	1	♂	-	+		+			10	-	+		+			-		
中○よ○	60	♀	+				++		10	+				++		-		
米○与○	62	♂	++	++	++		++	++	+	10	++	++		++	++	±	パンヌスは1/2位になる	
寺○みす○	68	♀	+	++	++		++	++	-	10	-	++	+	+	-	+		
加○源○	59	♂	+	++	++		+	++	+	10	+	-	+	+	+	+	パンヌスは1/2位になる	
宮○は○	54	♀	-	+	+			++	10	-	+			+	-	±		
出○栄○子	3	♀	+	+					++	10	+	+				-	+	

の4回は30分置きに、その後の5回は4時間置きに点眼するという方法を行つている。

私の行つた1日1回0.5%軟膏点眼と、0.25%水溶液の患者自宅点眼の併用で、10日間の観察ではもちろん、効果判定に対しては不十分であり決定的なことはいえないが、しかしこの成績は少くともある程度の参考にはなると思う。特に私の経験では、副作用のないこと、投薬の容易なこと、費用の大して嵩まらぬことなどより

考え、又桐沢氏のいうように、菌に対する耐性附与力の少いこと、効力の一定なこと等から考えるならば、テラマイシンあるいはオーレオマイシンを以てする療法は、従來の如何なる方法にも勝る極めて有利な集団治療法というべきだろう。但し治療期間として10日は短か過ぎることはいうまでもない。

終に、恩師倉知教授の御校閲を深く感謝する。

文 献

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1) 長谷川文吾：臨牀，45巻，261頁，昭26. | 5) 許秋水：眼紀，1巻，284頁，昭26. |
| 2) Irvin H.：Archives of Ophth，45，45，1951. | 6) 三井幸彦：日本医事新報，1376号，13頁，1950. |
| 3) 桐沢長徳：臨牀，4巻，281頁，1950. | 7) 三井幸彦：臨牀，5巻，145頁，昭26. |
| 4) 小池和夫：臨牀，45巻，73頁， | |